



11月26日
八地申
第20号

2020年度営業施策（その2）に関する申し入れの団体交渉を実施！

その2

4. 八王子駅はお客様の流動を勘案し、立ち番を配置してホーム上の安全を確保すること。
ホーム上の安全確保とご案内を両立させるために、輸送Cの作業は当面確保すること。

○3月実施に向け、作業ダイヤやその他の業務について**検討課題**が多数あることが**労使ともに共通して認識**されたため、**継続議論**となった。

→今後、組合員と共に要求を再度まとめて、改めて申し入れを行います！

継続議論



5. 拝島駅の営業（乗客）見直しについて、今後の業務内容を明らかにすること。

○乗客は、過去にライナー券販売、電報整理も担当していたがシステム化により**見直しが可能**と判断した。

○営業（乗客）が行っていた業務（遺失物取扱・管理駅券売機締切・車内点検）は、他の作業ダイヤに割り振る。

6. 拝島駅の営業（乗客）が行っている遺失物取扱いは、技術・技能継承の期間を設け、スケジュール感を持って取扱誤りの無いよう教育をおこなうこと。

○拝島駅遺失物取扱件数は微減となっているが、**遺失物法に基づき取扱は厳正に行わなければならないことを認識**している。OJT や OFFJT を充実させ**技術継承は今までと変わることなく行っていく**。

確認



確認

7. 今施策を実行するにあたって「異動」が発生するのか明らかにすること。

また、本人が描くキャリアプランを遵守したうえで、今施策を実施すること。

○本人が描くキャリアプランは、**自己申告書の面談や普段からのコミュニケーションにより、把握**していく。



交渉結果を組合員と共有し

より良い施策を共に創り出そう！